

大正十年四月二十二日第三種郵便物認可  
昭和七年八月十五日發行(每月一回十五日發行)



# 滿洲建築協會雜誌

災  
害  
防  
止  
調  
查  
委  
員  
會  
報  
告  
書

12  
8

社團法人滿洲建築協會發行

---

# ホロータイル

---

# フェイスブリック

---

礦 滓 カ ッ ト

---

鋪 道 煉 瓦

---

スクラッチタイル

---

カ ッ ト タ イ ル

---

機 械 製 煉 瓦

---

普 通 煉 瓦

---

專賣特許 鐵 筋 煉 瓦

---

## 營 口 煉 瓦 製 造 所

大 連 工 場

大連市管内西山會三春柳一

電話九〇九七番

周 水 工 場

大連市管内周水屯周家屯

大 連 出 張 所

大 連 市 越 後 町 二 八

電話三九〇五番

馬 車 配 給 所

大 連 市 財 神 街 三

電話七七五八番

---

# 滿洲建築協會雜誌

第十二卷  
第八號特輯

災害防止調査委員會報告書の公表に際して

社團法人滿洲建築協會長

小野木孝治

災害防止調査委員會報告書

社團法人滿洲建築協會

災害防止調査委員會

陳列所  
會報

編輯後記.....ISHIDA 生

表紙意匠.....草野美男氏

——編輯後記——

最近の編輯豫定では七月保養院、八月星ヶ浦、九月新撫順と何れも特輯的に進み、災防委員會の報告書は臨時増刊か、パンフレットで行くつもりでありましたが、種々の都合で此の豫定は全く變更のやむなきに至りました。其の結果保養院は九月、星ヶ浦は十月、新撫順は十一月といふことになり、本月は此の災防委員會の報告を特輯として發行することになりました。其の内容全部が會報的の性質を帯ぶるものですから、何かと組合せて行き度いと思ひましたが、定期刊行物のことゝて原稿を待合せる爲に餘り期日を違へることは出来ませんので、此の報告書のみを以つて纏めることに致しました。

保養院、星ヶ浦、新撫順等何れも圖版が潤澤に準備されてゐますから、圖版紹介に就いては、今後號を追つて、今までの埋め合せを付ける積りです。

朝晩は幾分涼味を感じる頃になりましたが一層御自愛專一に祈上ます。

昭和七年八月十二日

I S H I D A 生

災害防止調査委員會報告書

社團法人滿洲建築協會